

★ **子ども達と一緒に
考えて
完成させます**



最初から台本があったり、決まっている動きや表現を子ども達に繰り返し教える保育ではありません。

登場人物の思いや気持ちを伝え、どんな台詞にするのか話し合ったり、絵本やビデオ、様々な資料を見たり、実際に出来る事は体験しながら深くイメージを持たせる事でどんどん子ども達からのアプローチも増え、表現も変化します。
僕が、私が考えた表現や台詞が取り上げられて一つの作品になっていきます。

**子ども達と共につくる
保育発表会**

2022. 2. 彩都けいあい

いよいよ『保育発表会』が近づいてきています。お話を音楽要素と劇的要素をからめて、身体で表現すること、そして表現する楽しさと喜びを味わうというねらいを基に活動を進めています。幼児期に **体験して学ぶこと、感じて学ぶことを大切にしている当園の教育方針が最もよく表れているのが、保育発表会です。**

※ 本園の発表会の特色をご紹介致します。よくご理解頂いた上で、**ご覧下さいますようお願い致します。**

★ **全員が主役です**



↓
役を固定したり、男の子だから男役、女の子だから女役という、役の決め方はしていません。

年齢に応じて主役だけではなく、他の役も演じます。



色々な役を次々と演じるメリットは…

何より、活動への意欲付けと物語全体の理解に役立ちます。又、子ども達にとって主役・脇役・男女の意識といったらえ方はありません。色々な役をみんなで行うことによって、常にクラス全体が活動していきます。

★ **年間を通して取り組み、積み重ねている
普段の保育が基本です**

特に下記の特徴ある教育法が土台となっています。

※ **クリエイティブ・ムーブメント (CM)**

自分の思いや、考えを身体で表現する活動で、最終のねらいは身体による『自己表現』です。今までの一つ一つの遊びの中で 子ども達は工夫を求められ、**他の友達とは違った表現を考え出したり、友達と一緒にグループで表現を考え出す喜びが、育ってきています。**

※ **リズム・バリエーション (RV)**

音楽に合わせてステップを踏み、リズム感、フレーズ感 (音楽の流れ) ダイナミクス (強弱など) を知らせる活動です。音楽を子ども達の感覚に訴えるので**年齢に関係なく楽しめ、子ども達自身も、音楽を感じ取ってステップの組み合わせが出来るようになります。**



※ **サウンド・プレイ (SP)**

(音あそび・楽器あそび)
色々な楽器に触れ、自己表現をしながら、**音楽の要素を感じとっていき、自由な音作りの遊びです。**

※ **ハート・プレイ (HP)**

お話の世界に入り込み、心をわくわくさせたり、全身で発散したり、緊張したり、思いきり笑ったり…
など、**クリエイティブドラマを体験することにより、たくさん心を揺さぶられています。**

★ **発達に応じた活動内容です**

3歳児に、5歳児のレベル内容を求めては楽しめません。又、5歳児に3・4歳児でも出来る事で、とどまっても楽しめません。年齢の発達を考慮した内容で活動を進めています。



年少組

日々の保育そのものが保育発表会となっています。教師と子どもの対応という点を特に大切にし、覚えさせたり教えるのではなく、今日は〇〇してみよう！と毎回楽しい遊びを展開しています。

年中組

自分たちで音楽を感じステップを踏んだり、全員で一つの役をするのではなく、二役に別れて掛け合いをしたりと、年少組の基本から少し難しいことに挑戦をします。また、堂々と自信を持って表現できることを大切にしています。

年長組

役柄の気持ちを理解し、演じるということを大切にしています。台詞一つにしても、感情を込めたり、指の先から表情にいたるまで意識をし表現力を深めています。

<役割について>

役決めに関しては楽器や大道具、小道具操作も含め、全てその場で『**やってみたい人!**』というように子ども達の希望を聞きながら、日が近づくにつれ、人数調整を行い決まっていきます。**子どもの表現は、毎回変化していきますので、ギリギリまで、最終役割分担を決められません。**しかし、楽器や大道具の操作等は音楽や動きの流れも理解し行うことが多いため、喜んで活動出来る事を大切に、子ども達のやる気は受け止めつつ、負担にならぬよう役割を決めています。

<立ち位置について>

ステップを踏む時、フロアで広がる時など決まった立ち位置はありません。子ども達自身が広いスペースを見つけたり、友達との距離を感じながら位置を決めています。見える位置ということではなく、間隔を取り、広がっている事を認めて頂けたらと思います。

発表会まで、子どもさんの話を聞きながら沢山励まし、当日を楽しみに迎えて頂けたらと思います。お家の方の喜びの言葉掛けが、より子どもさんの意欲をサポートすることですので、宜しくお願い致します。